

平成 28 年 4 月 11 日

沖縄県がん診療連携協議会議長

沖縄県がん診療連携協議会委員

真栄里 隆代

医療者、行政、がん患者やその関係者のあいだの連携強化に関する要望

医療者、行政、がん患者やその関係者のあいだの連携を強化することを要望します。

特に、がん患者及びその関係者向けの研修会等に、医療者や行政関係者の参加を要望します。

平成 28 年 3 月 5 日（土）に、沖縄県友声会の田名会長が宮古島で講演会と食道発声の講習会を行いました。沖縄県子ども生活福祉部障害福祉課の主催でしたが、参加者が 10 名ほどで、医療者の参加はありませんでした。担当課の方は、宮古医療圏内の医療機関、介護関係施設に案内を送ったとのことでした。医療者に一度聞いていただけたら、喉頭がんの患者さんのつらさや取り組まなくてはいけない課題が共有できると思います。

このような研修会を、各拠点病院やがん診療を行っている専門医療機関の職員研修として取り入れることが必要かと思われまます。

この研修会以外にも、医療機関が主催するとてもためになる研修会・講習会ががん患者に周知が不十分であった、行政が主催する一般向けの講演会が医療者が知らないことが日常的にあります。とても良い試みにも関わらず、医療者、行政、がん患者やその関係者の連携が取れていないために、うまくいってない気がします。

この点に関して、幹事会及び協議会において議論の上、医療者、行政、がん患者やその関係者のあいだの連携強化についてご議論していただき、有効な施策を策定し、実行していただくことを強く要望します。